

# DAWN 通信

第10号

2011. 7

## ★特集

- 35 年の時を経て、貴重な映像が蘇る  
——DVD と書籍、同時刊行！  
Women Pioneers——女性先駆者たち ②
- 被災者支援、いま私たちにできること  
～東北大震災被災者の心のケア～ ①
- 講座・イベントのご案内 ④
- 賛助会のご案内／賛助会員ご紹介 ⑥

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に發揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

## 被災者支援、いま私たちにできること

### ～東北大震災被災者の心のケア～

「福島から来られているのですね。こちらではいかがですか」と妊婦健診での助産師のねぎらいに、妊婦は堰を切ったように話し始めた。3月から大阪の義父母宅に5歳と2歳の子どもと共に避難のために一緒に住み始めたこと、夫は仕事のために福島に残っていること、義父母から嫁として立ち振る舞いができるない、子どもの躊躇が出来ていない事を非難されること、子どもが萎縮し、母親にまとわりついて外で遊ばないことなどがその内容であり、母・嫁としての伝統的役割分業感、震災後の子どもの影響の無理解の辛さがそこにはあった。

その状況が回避できない、つまり自宅に帰るに帰れないだけに余計に辛い。放射能レベルが下がれば帰れるが、どのくらいの値になったら良いのか、それはいつ頃になるのか、情報・基準がないため出口のないトンネルの世界である。家族分離による精神的負担、二重生活による経済的負担に加え、友人を残して避難したことの罪悪感、今度地元に戻った時に地域にすんなり受け入れてもらえるのかの不安も話され、福島に戻れない辛さと、戻りたい辛さが交錯する。避難するメリットがデメリットを上回る明確な証拠が無い限り、避難しても避難しなくとも辛い状況を、噛み締めるように話した。

放射能の子どもへの影響はやはり気になる。マスコミでその話題になると、義父母が「気にしそうだ」「気にしなすぎだ」と怒っているために、決して話題に出せない。何が正しくて、福島県の放射能が、どれほどの健康被害が想定されるのか分からぬことへの苛立ちは隠せない。ひと通り話すと、「すっきりしました」と帰院された。

原子力に対する色々な思いはある。そこではなく、辛い思いをされている方々の色々な様々な心の叫びを聞き続けていくことが、援助をしていく上での出発点なのではないか。私は、自分らしさを取り戻し、自分の生き方を決めていくことができる女性たちの力を信じている。

神戸市看護大学 教授  
高田昌代

35年の時を経て、貴重な映像が蘇る  
—— DVDと書籍、同時刊行！

# Women Pioneers

—女性先駆者たち—

今から35年前、国際婦人年であった1975年、ジャーナリストの渡辺晴子さんと縫田暉子さんはY-H暉晴基金を設け、10人の女性先駆者にインタビューしたビデオ作品を制作されました。

この度、(財)大阪府男女共同参画推進財団では、渡辺さんからそのビデオの寄贈を受け、7人の若手女性研究者の協力を得てビデオをDVD化。『Women Pioneers —女性先駆者たち』として、貴重な映像を蘇らせました。同時に、インタビューのブックレットと、パイオニアたちの歴史が見渡せる年表も作成。明治・大正・昭和・平成と、激動の時代を駆け抜けた女性たちの活動を、映像で、活字で、ご覧いただけます。

## 1 はじめに 日本女性の地位



ぬいたようこ  
**縫田暉子**  
放送ジャーナリスト  
NHK解説委員  
国立女性教育会館初代館長

(1922年～)  
1945年NHKに入局、1962年、女性初のニュース解説者として解説委員となる。1971年(昭和46)美濃部東京都政第二期に民生局長に就任し、自治体初の女性局長となる。1975～88年NHK委嘱解説委員。1977～82年(昭和52)国立婦人教育会館初代館長。1986～93年(財)市川房枝記念会理事長。1994～97年、総理府男女共同参画審議会会長を務めた。

\* 荒木 菜穂(神戸大学大学院総合人間科学研究科)  
伊藤 良子(大阪府立大学大学院人間社会学研究科 大阪府立大学看護学部助教)  
織田 晃子(京都大学大学院文学研究科)  
鈴木 彩加(大阪大学大学院人間科学研究科)  
関 めぐみ(大阪府立大学大学院人間社会学研究科)  
豊田 真穂(関西大学文学部准教授)  
林 葉子(同志社大学人文科学研究所嘱託研究員 池坊短期大学等非常勤講師)

## 2 高田ユリと消費者運動



たかだゆり  
**高田ユリ**  
消費者運動家  
主婦連合会会長

(1916～2003)  
1950年、主婦連合会に新設された日用品審査部の専門委員に就任、飲食品や容器の危険性を告発する消費者運動を展開して、不当表示法制定や安全基準づくりに貢献した。また、東京家政大学短期大学部講師、横浜国大経済学部・教育学部講師を務める。通産大臣表彰、最高殊勲婦人賞(中央公論社)、勲三等瑞宝章などを受賞し、消費者運動における活躍が高く評価されている。

## 3 市川房枝と婦人参政権のあゆみ



いちかわ ふさえ  
**市川房枝**  
政治家  
社会運動家

(1893～1981)  
小学校教員、名古屋新聞記者を経て、大日本労働総同盟友愛会婦人部の書記になる。1919年、平塚らいでうらと新婦人協会を結成。1921年に渡米して婦人参政権運動の指導者アリス・ポールを知る。1924年帰国、ILO東京支局職員となる。同年、婦人参政権獲得期成同盟会の結成に参加し、婦人参政権運動の中心的役割を担う。1953年に参議院議員に初当選。

## 4 三淵嘉子 法曹界の扉を開く



みぶちよしこ  
**三淵嘉子**  
弁護士  
裁判官  
浦和、横浜家庭裁判所長

(1914～1984)  
1938年、中田正子、久米愛とともに高等試験司法科試験に女性として初めて合格し、弁護士となる。戦後、女性に裁判官の道が開かれ、1949年、石渡満子とともに裁判官に。1972年には新潟家庭裁判所にて女性初の所長に就任。浦和、横浜の家庭裁判所長を歴任し1979年退官。日本婦人法律家協会(現・日本女性法律家協会)を創立し、法曹界での女性の地位向上にも尽力した。

## 5 加藤シヅエと家族計画



かとうしづえ  
**加藤シヅエ**  
家族計画運動家  
政治家  
日本家族計画連盟会長  
家族計画国際協力財団会長

(1897～2001)  
1919年、最初の夫・石本恵吉  
男爵と渡米した際に、産児調節運  
動家マーガレット・サンガーと出会  
い、家族計画運動の道へ。その後、  
後の夫である労働運動家・加藤勘十  
の人民戦線事件との関係で、逮捕拘  
留された。1946年、加藤とともに社  
会党から立候補し衆議院当選。優生  
保護法や売春防止法の制定、姦通  
罪廃止などに貢献。日本におけ  
る家族計画運動の中心的役  
割も果たす。

## 7 浅賀ふさと医療社会事業



あさかふさ  
**浅賀 ふさ**

医療ソーシャルワーカー  
日本福祉大学名誉教授

(1894～1986)  
大学卒業後、渡米。シモンズ  
女子大学大学院社会事業学校など  
でソーシャルワークや教育学を学  
び、帰国後、日本初のMSWとなる。  
戦前から結核患者の生活環境改善や  
乳幼児の健康相談を手がけ、戦後は  
厚生省児童局で児童福祉法制定に寄  
与。日本福祉大学の創始者の一人と  
なり、社会福祉従事者の養成に尽  
力。また、婦人参政権獲得運動  
や母子保護法制定にも取り  
組んだ。

## 9 山高しげりと母子福祉



やまたかしげり  
**山高 しげり**

女性運動家  
政治家

全国地域婦人段階協議会会長  
全国未亡人団体協議会理事長

(1899～1977)  
『国民新聞』『主婦の友』の記  
者を経て、1924年、市川房枝ら  
とともに婦人参政権獲得期成同盟会  
(のち婦選獲得同盟)を結成。戦後、  
市川らと戦後婦人対策委員会を立ち  
上げた。また、地域婦人団体の育成  
に努め、全国地域婦人団体連絡協議  
会(通称「地婦連」)会長に就任。  
1962年参議院当選。母子福祉の推  
進者として、女性運動指導者と  
して活躍。売春防止法制定  
などにも尽力。

## 6 阿武喜美子科学の世界に挑む



あんのきみこ  
**阿武 喜美子**

科学者  
農学博士  
お茶の水女子大学名誉教授

(1910～2009)  
東京文理大学化学科卒業後、  
1938年、東京帝国大学大学院で  
日本で初めての女性大学院生となっ  
た。専門は炭水化物化学で、糖に関  
する研究に取り組み、『糖化学の基礎』  
などを著した。1950年からアメリカ  
に留学し、帰国後、お茶の水女子大  
学(女高師から改組)にて研究に従  
事。教授に就任し、学生たちを熱  
心に指導した。1973年、國立  
大学で初めての女性理学部  
長となった。

## 8 江上フジと子ども、婦人番組



えがみふじ  
**江上 フジ**

放送ジャーナリスト  
婦人問題研究家  
NHK考查室長

(1911～1980)  
ランバス女学院(聖和大学、現・  
関西学院大学)保育専修部卒業。  
その後、関西学院大学のセツルメン  
ト内に託児所を創設。人種差別をな  
くすため、地域の朝鮮の子どもを一  
定期受け入れるという先駆的な試  
みを行った。1941年NHKに入局。  
1948年、ラジオ局社会部の婦人課  
課長となり、NHK初の女性管理  
職となる。1969年、日本女性  
放送者懇談会を創立、初代  
会長に就任。

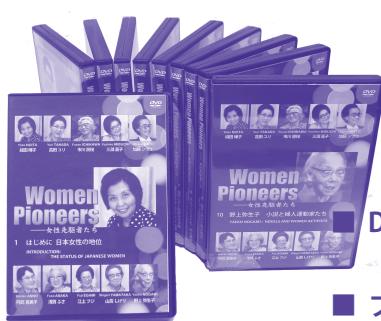
## 10 野上弥生子 小説と婦人運動家たち



のがみやえこ  
**野上 弥生子**

小説家  
文化勲章受章

(1885～1985)  
野上豊一郎と結婚。夏目漱石  
の指導を受けて小説を書き始め  
る。1907年、漱石の紹介で『ホト  
トギス』に『縁』を発表。青鞆社の  
創設時に社員として名を連ねたが退  
社し、その後は寄稿者として『青鞆』  
に小説や翻訳を発表した。代表作は  
『海神丸』(1922年)、『真知子』  
(1931年)、『迷路』(1956年連載完  
結、第9回読売文学賞)、『秀吉  
と利休』(1964年、第3回女  
流文学賞)など。



# Women Pioneers

—女性先駆者たち—

DVD全10巻(日・英 各約30分)

各巻5,000円(全巻セット40,000円)

■ ブックレット(日・英二カ国語)  
全1巻1,800円(年表付き)

制作・著作(1975～76年): HKW(代表 渡辺晴子)

DVD編集制作(2011年):(財)大阪府男女共同参画推進財団

### 【ご購入・お問合わせ】

財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-4-9  
ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

TEL 06(6910)8615 FAX 06(6910)8624

URL: <http://www.ogef.jp> / E-mail: [jigyo@dawncenter.or.jp](mailto:jigyo@dawncenter.or.jp)

## 講座・イベントのご案内

### ① 仕事・キャリア

#### はなみずきキャリア塾Ⅲ



働く女性のワークライフの充実、生涯にわたりキャリアを創造する力量形成を目的とした実践セミナーです。

2011年4月～2012年3月 全11回 各回13:30～16:30  
(8月を除く毎月第4土曜日に開催予定)

##### ●7月 A<広げる>

7/23 夢をかたちにする／日本の伝統を感じる～舞踊～

##### ●9月～12月 B<楽しむ>

9/24 楽しんで働く／住まいは生き方 など

##### ●場 所：ドーンセンター特別会議室（5F）

##### ●対 象：女性 各回50名（応募多数の場合は抽選）

●受講料：B 10,000円、C 8,000円、  
各日3,000円 ※当財団個人賛助会員は10%割引

### ② 仕事・キャリア

【先着】

#### はなみずきキャリア塾 <特別編>



#### メンタルヘルス編

女性が働き続けていく中で、出会う悩み、不安、プレッシャー。頑張り過ぎて、心が疲れて落ち込んだり。でも、生きている限りストレスはつきものです。

このプログラムでは、働く女性がさまざまなシーンで直面する課題を心理学の視点による講義とワークショップを通して、セルフケアの方法を学びます。

まずは自分を大切に。そして楽しい生活を。ばちばちいきましょう！  
2011年5月～2012年3月 全10回 各回13:30～16:30  
(8月を除く毎月第2土曜日に開催予定)

##### ●7～9月 <心の病に強くなる>

7/9 働く女性がかかりやすい心の病と対策

9/10 もしかして、あなたも“燃え尽き”予備軍？

##### ●場 所：ドーンセンター 大会議室 ほか

##### ●対 象：女性 各回20名（定員に達し次第締め切り）

##### ●受講料：各日2,000円

※当財団個人賛助会員は10%割引

### ③ 教員向け

【無料】 【先着】

#### 学校教員のための研修プログラム

学校教員を対象に、児童・生徒への予防啓発の重要性や効果的な指導の具体的方法についての研修を行います。教育現場での若年DVの予防につなげることを目的とします。

##### ●日 時：①小学校・中学校・支援学校教員対象

2011年8月3日（水）13:00～17:00

##### ②高等学校・支援学校教員対象

2011年8月4日（木）10:30～15:00

##### ●場 所：ドーンセンター 特別会議室（5F）

##### ●対 象：①大阪府内の小学校・中学校・支援学校教員

②大阪府内の高等学校・支援学校教員

##### ●定 員：各50名（先着順）

##### ●受講料：無料

##### ●講 師：原 健一（佐賀県DV総合対策センター所長）

##### ●申込締切：2011年7月27日（水）必着

### ④ 仕事・キャリア

【無料】 【選考】

#### 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練 パソコン実務習得科（7月開校、9月開校、各2ヶ月）

“仕事に就きたい！”と考えている母子家庭のお母さんなどを対象に、パソコンの実習としごと準備講座を組み合わせた職業訓練を開催します。

●日 時：(7月開校) 2011年7月1日(金)～8月31日(水)  
(9月開校) 2011年9月1日(木)～11月1日(火)  
9:45～16:45

##### ●場 所：ドーンセンター

●対 象：訓練後、すぐに就職したいと考える母子家庭のお母さん等

●定 員：20名（最小催行人数10名）

●受講料：無料（ただし、テキスト代3,000円）

●申込方法：住所を管轄するハローワークでご相談の上、お申込みください。

●一時保育：あり 1歳～就学前（保育料無料、定員15名）

●お問合わせ：府民お問合せセンター「ピピッとライン」

☎#8001または06-6910-8001

商工労働部雇用推進室人材育成課委託訓練グループ

☎06-6210-9530

### ⑤ 女性のためのサポート

【無料】 【先着】

#### ～東北地方から関西へ来られた女性のみなさんへ～ 故郷のこと、お話しませんか

東北地方で被災し関西へ来られた女性のためのサポート・グループを開催します。お茶を飲みながらゆっくりとお話ししませんか。

●日 時：2011年9月10日～12月10日（土曜日）全7回  
10:00～12:00

##### ●場 所：ドーンセンター 和室または調理室

●ファシリテーター：（ドーンセンターカウンセラーほか）  
川喜田 好恵、杉本 志津佳  
竹之下 雅代、本多 利子 ほか

●対 象：東北地方から関西に避難してきた女性 15名

●参加費：無料

●一時保育：1歳～就学前（無料）

●申込方法：電話でお申し込みください

（財）大阪府男女共同参画推進財団

相談事務局 ☎06-6910-8588

### 【会場案内】

ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

大阪市中央区大手前1-3-49

京阪・大阪市営地下鉄谷町線 天満橋駅1番出口より  
西へ徒歩約5分

このページに掲載している①～③の  
講座・イベントに関するお問い合わせは

☎ 06-6910-8615

（財）大阪府男女共同参画推進財団  
事業担当まで

## 講座・イベントのご案内

⑥ 海外交流

先着

### スタディーツアー 〈韓国編〉

日本と韓国の女性たちのつながり、エンパワメントのために、韓国の女性の地位向上に取り組むNGOを訪問し、社会問題のリーダー養成や「女性への暴力」防止の活動、ソウル市の女性政策などを学び、交流する韓国スタディツアーを開催します。

このツアーでは、韓国第二の都市・プサンと首都ソウルを訪ね、プサンでDV問題解決を含めた女性たちの権利向上に取り組むNGOなどを訪問・交流し、ソウルでは市のシンクタンク的役割を担っているソウル市女性家族財団（ソウル女性プラザ）や、大学院のコースとして「実践女性学コース」を設置している聖公会大学院も訪れます。また、ツアープログラムの一環として、大阪府立大学女性学研究センターと聖公会大学院実践女性学コースの共催によるワークショップにも参加します。男性の参加も歓迎です。

- 日 時：2011年8月24日（水）～28日（日）
- 旅行代金：お1人あたり 120,000円+燃油サーチャージ、空港税等約1万円

●お問い合わせ・お申し込み

（株）トラベルギャラリー ☎06-6456-4888

●主 催：（株）トラベルギャラリー

●現地企画協力：（財）アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）  
（財）大阪府男女共同参画推進財団

●後 援：大阪府立大学女性学研究センター

⑦ 文化・アート

第42回ドーン・シネマクラブ 「衣」と「食」を考える～

### 未来の食卓

（2008/ フランス /112分 / 監督：ジャン＝ポール・ジョー）

舞台はフランス南部のガール県バルジャック村。この映画は小学校の給食を全部オーガニック（有機農法）にするという前例のない試みに挑戦した村の1年間を追ったドキュメンタリーです。

- 日 時： 7月18日（月・祝）14:00
- 場 所： 東大阪市立男女共同参画センター  
イコーラムホール

- チケット：前売り1,000円（当日1,300円）  
電話予約可（上映日前日まで）  
※当財団個人賛助会員は前売り料金
- 同時上映：「Fashion Resistance～暴力を着る～」  
(2006年 / アメリカ / 10分 /  
監督・製作・著作 : Women of Color Resource Center)

- 機材協力：プラネット映画資料館
- 広報協力：大阪映画センター



⑧ イコーラム事業

無料 先着

### 【表現講座】パープルリボン(DV 防止運動)・パッチワークづくり つなげようあなたの思い「ストップ ザ DV in 東大阪」

パープルリボン・キルトを作成しながら、DVの問題について学びます。（全4回）

- 日 時：2011年8月13日（土）・27日（土）・9月10日（土）  
・9月24日（土） 各回 10:00～12:00
- 場 所：イコーラム第1・第2研修室
- 対 象：一般（東大阪市在住、在勤、在学）15名
- 参加費：無料
- 申込締切：2011年8月6日（土）必着

⑨ イコーラム事業

無料 先着

### 一步セミナーシリーズ 女性のための心理学レッスンⅡ

ジェンダーについての気づきを通じて自尊感情を獲得し、自分らしく生きるために学びを得る講座です。全5回シリーズの2回目。

- 日 時：2011年9月8日（木）・15日（木）

各日 10:00～12:00

- 9/8 お母さんも‘私’らしく～“いい母親”からの脱却～
- 9/15 母から受け継いだもの、子どもに期待するもの

- 場 所：イコーラム 第1・第2研修室

- 対 象：市内在住・在勤・在学の女性 20人

- 受講料：無料

- 申込締切：2011年9月1日（木）必着

⑩ 東大阪市事業

無料

### 希来里ファミリーまつり

～子どもと保護者、地域の人が楽しくふれあいながら学べる～

- 日時：2011年8月21日（日）

- 場所：イコーラム及び希来里ビル（近鉄若江岩田駅北側）

※プログラムの詳細等は、チラシ、ホームページ等でお知らせします。

#### 【会場案内】

イコーラム（東大阪市立男女共同参画センター）

東大阪市岩田町4-3-22-600

近鉄奈良線 若江岩田駅下車 北側すぐ  
希来里 施設棟 6F

このページに掲載している⑦～⑩の  
講座・イベントに関するお問い合わせは

☎ 072-960-9201

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムまで

## 賛助会員募集中！

当財団は 1994 年創立以来、ドーンセンターを拠点に、男女共同参画社会の実現をめざして大阪府からの受託をはじめ、財団自主事業を展開しています。例えば、働く女性のためのセミナー、男性のための講座、行政や学校教員を対象とした研修、職場における女性活躍推進等、企業で研修を企画される際の情報相談や資料の貸し出し、女性のメンタルヘルス支援事業などです。(詳しくはホームページ <http://www.ogef.jp/> をご参照ください。) 私たちとともに豊かな男女共同参画社会を築いていきませんか。

\*\*\*\*\*

【年会費】(4月から翌年3月までの年度制となります)

・個人 一口 3千円

・団体 企業等 一口 1万円

非営利団体 一口 5千円

【振込先】〈郵便振替口座〉 00900-9-155214

口座名 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

〈振込先口座〉りそな銀行大手支店 普通 1632615

口座名義人 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、

電話番号、メールアドレス、お名前公表の可否をご記入ください。

### 平成22年度 賛助会費収支報告書

H.23.3.31 (単位:円)

| 収 入     |                     | 口 数  | 金 額       |
|---------|---------------------|------|-----------|
| 個人会員    | 1口 3,000円           | 140人 | 921,000   |
| 企業会員    | 1口 10,000円          | 8企業  | 170,000   |
| 非営利団体会員 | 1口 5,000円           | 28団体 | 155,000   |
| 合 計     |                     | 355  | 1,246,000 |
| 支 出     |                     | 回 数  |           |
| 充当事業    | 「フェミニストカウンセリング専門講座」 | 13   | 667,761   |
|         | 「ファシリテータースキル講座」     | 4    | 158,392   |
|         | 「スーパービジョン講座」        | 7    | 255,310   |
| 事務局経費   | ニュースレター(DAWN通信)     | 4    | 164,537   |
| 合 計     |                     |      | 1,246,000 |
| 收支差引額   |                     |      | 0         |
| 次年度繰越金額 |                     |      | 0         |

## 【賛助会員ご紹介】 ご入会・ご継続ありがとうございます。

### 【個 人】

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 尼川 洋子  | 荒木 美子  | 池田 幸雄  | 伊田 久美子 |
| 伊藤 誠   | 岡田 昌子  | 梶川 富美子 | 川上 清   |
| 川崎 佳代子 | 北山 博一  | 木山 美佳  | 九門 リリ子 |
| 倉田 清   | 黒瀬 友佳子 | 黒田 昌子  | 伍賀 健子  |
| 小谷 晴美  | 小林 和子  | 小松 満貴子 | 三枝 泉   |
| 志水 紀代子 | 清水 由喜  | 正路 怜子  | 鈴木 誠子  |
| 外川 恵   | 竹中 恵美子 | 竹林 克巳  | 田代 真朱子 |
| 田中 潤子  | 田中 良正  | 谷岡 文香  | 中崎 郁子  |
| 中村 彰   | 夏原 晃子  | 名取 千里  | 西辻 達也  |
| 服部 道代  | 肥田 和子  | 藤井 三樹生 | 藤田 良和  |
| 淵田 智   | 本多 利子  | 馬越 かよ子 | 萬田 久美子 |
| 溝上 久美子 | 森 栄子   | 森 俊江   | 柳井 真智子 |
| 山中 紀代子 | 山本 隆夫  | 吉岡 重彰  | 米谷 優子  |
|        |        |        | 他 35 名 |

### 【企 業】

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 株式会社 学校事務機センター     |       |
| 株式会社 ゼロワン          |       |
| 株式会社 三菱電機ビルテクノサービス |       |
| 司法書士 Y S パートナーズ    |       |
|                    | 他 1 社 |

### 【非営利団体】

|                                  |        |
|----------------------------------|--------|
| I 女性会議大阪                         |        |
| 特定非営利活動法人 生きがい大阪                 |        |
| 大阪難聴児親の会(あゆみ会)                   |        |
| 特定非営利活動法人 大阪府中途失聴・難聴者協会          |        |
| オペールネットワーク大阪                     |        |
| おんなの目で大阪の街を創る会                   |        |
| カウンセリングニューやあやあ                   |        |
| 特定非営利活動法人 関西こども文化協会              |        |
| 劇団シルバームーン                        |        |
| 国際女性年大阪連絡会                       |        |
| 浪花勘亭流同好会                         |        |
| 特定非営利活動法人 日本交流分析協会 関西支部          |        |
| 社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会西日本支部 |        |
| 特定非営利活動法人 ハーティ                   |        |
| 働く女性の人権センター いこる                  |        |
| NPO法人 暴力防止情報スペース・A P I S         |        |
| 特定非営利活動法人 リトミック研究センター／大阪第一支局     |        |
|                                  | 他 2 団体 |
| 以上、順不同、敬称略 (2011年6月15日現在)        |        |
| ※2011年6月15日までに会費をご入金いただき、かつ掲載許可を |        |
| いただいた方のみ掲載しております。                |        |

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内しています。<http://www.ogef.jp>

編集・発行 財団法人 大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部  
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F  
 TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624  
 E-mail: [info@ogef.jp](mailto:info@ogef.jp) <http://www.ogef.jp/>

発行日: 平成 23 (2011) 年 7 月 1 日